








あぐい

第145号

平成22年5月1日発行

議会だより

-  2P 主な議決内容
-  4P 町財政の歳入歳出
-  5P 常任委員会レポート
議会だより編集委員視察報告
-  6P 一般質問
-  18P 紹介「宮津山田民踊同好会」
編集後記
6月議会予定

平成22年第1回定例会

可決

平成22年度一般会計予算

反対討論

杉野 明議員

賛成できない主な点は電光掲示板の無駄、敬老祝い金の縮小、職員30人の削減と給与等の大幅な削減、ホタルサミット等の行事予算の計上等。

賛成討論

勝山 制議員

健全財政の確保と住民福祉の向上に配慮し一般会計予算は、前年度比5・8%増の規模です。主なものは循環バス対策事業、子育て支援センター事業、町道3196号線などと、幼保小中一貫教育プロジェクト事業のさらなる推進と町民へのサービス向上を期待する。

賛成討論

鈴木 一夫議員

地区懇談会時に循環バスが必要との意見も多いとのことですが、本町はすでにタクシー助成もあり、今後十分に自身の検討をし委託費の発注については慎重を機して、行政運営をされることを強く要望し賛成討論とする。

可決

平成22年度水道事業会計予算

反対討論

澤田 道孝議員

隣地、地権者に説明、理解、交渉が進んでいない。さらに境界確定測量が完了していないこと。よって第3供給点の用地造成費用の予算付けは隣地、地権者に対しての感情無視であり計上すべきでない。

賛成討論

勝山 制議員

水圧改善や安定給水の強化は急務であり、第3供給点建設事業は継続が認められており、国庫補助金と名鉄の負担金が財源の一部であり協定に基づいて進めることが必要です。

反対討論

杉野 明議員

行政が工事を行う場合あらゆる問題点をクリアしてから行うべきで、隣地の境界が未確定で合意もできていない中で、4200万円の第3供給点の造成工事が盛り込まれている。継続費を承認したのだから否決するのは如何という意見があるが、第3供給点の工事そのものを反対しているのではない。年度ごとに不明確な内容が明らかになれば承認を取り消すことはできる。

賛成討論

久保 秋男議員

第3供給点建設事業は、水道水を安定的に供給するための建設事業である。現状東部地区へ供給するための本管は、各配水場に1本だけであり、水道水の供給体制の強化は喫緊の課題である。

賛成討論

三留 享議員

建設厚生委員会において本予算の否決理由とされた上水道第3期拡張工事に係る予算は、昨年3月議会において「継続費」として「総額と平成21年度から25年度までの年割額」をすでに議決しており、地方自治法第212条の規定により本年度において否認することは法律違反であり、議決は無効となる。

議案等

◎全員賛成可決
○賛成多数可決
×否決

議案

- ◎阿久比町議会議長の辞職について
- ◎阿久比町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ◎阿久比町職員の給与に関する条例及び阿久比町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ◎阿久比町国民健康保険税条例の一部改正について
- ◎阿久比町子ども医療費支給条例の一部改正について
- ◎阿久比町立地区公民館の管理に係る指定管理者の指定について
- ◎阿久比町立区民館の管理に係る指定管理者の指定について
- ◎愛知県市町村職員退職手当を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
- ◎愛知県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛

知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
◎阿久比町道路線の認定及び廃止について

- ◎平成21年度阿久比町一般会計補正予算
- ◎平成21年度阿久比町土地取得特別会計補正予算
- ◎平成21年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算
- ◎平成22年度阿久比町一般会計予算
- ◎平成22年度阿久比町国民健康保険特別会計予算
- ◎平成22年度阿久比町老人保健特別会計予算
- ◎平成22年度阿久比町土地取得特別会計予算
- ◎平成22年度阿久比町下水道事業特別会計予算
- ◎平成22年度阿久比町介護保険特別会計予算
- ◎平成22年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算
- ◎平成22年度阿久比町水道事業会計予算
- ◎平成21年度阿久比町一般会計補正予算(第9号)
- ◎平成21年度阿久比町水道事業会計補正予算

第1回臨時会(2月18日)

決議案

- ◎阿久比町上水道第3供給点調査特別委員会における調査費用に関する決議

議案

- ◎平成21年度阿久比町一般会計補正予算

第2回臨時会(3月24日)

阿久比町議会議長の選挙

議長 三留 享

意見書

町民の声を内閣総理大臣などに提出

賛成多数 子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

提出者 勝山 制議員

賛成討論 杉野 明議員

「子ども手当」の満額支給に5兆4千億円要するが、他の子育て予算の削減や更なる増税がないように。又、手当の支給だけでなく、保育所待機児童の解消、子ども医療費・教育費の軽減など子育て関連の基盤整備の更なる充実を求める。

賛成多数 教員免許更新制の存続を求める意見書

提出者 大村 文俊議員

反対討論 杉野 明議員

教員の身分を不安定にし、政府言いなりの「物言わぬ教師づくり」になる危険性がある。講習会の開設義務機関がなく、講習期間中の代替要員もないなど制度的に破綻している。

賛成多数 生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を求める意見書

提出者 稲葉 景久議員

賛成多数 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書

提出者 三留 享議員

反対討論 杉野 明議員

永住外国人は60万人。最高裁は1995年の判決で「措置を講ずる事は憲法上禁止されていない、国の立法政策の問題」としている。日本共産党の「地方自治体の運営は、本来すべての住民の参加によって進めることが憲法の保障する根本精神」という観点から、この意見書に合意できない。

反対討論 澤田 道孝議員

日本は食糧自給率30%代と諸外国に深く依存している。隣人として外国人を受け入れ共生し新しい日本を求めている我々は、投票権を与え意見を求めることは当然であり、外国人を差別、敵視することは日本の発展につながらない。

◆第1回定例会にて竹内貞和議員が議長職を辞職いたしました。

東部知多衛生組合議会議員

三留 享
澤田 道孝
久保 秋男

知多中部広域事務組合議会議員

三留 享
稲葉 景久
竹内 松彦

知多地区農業共済事務組合議会議員

三留 享
大村 文俊

政治倫理審査会

委員長 二井登喜男
副委員長 鈴木 一夫
委員
石川 英治 久保 秋男
杉野 明 山本 幸司

このたび私は、議員多数のご推挙により阿久比町議会議長の要職に就かせていただくことになりました。まことに光栄に存じますとともに、責任の重大さをひしひしと感じているところでござい

ます。地方自治体を取り巻く昨今の情勢は、厳しい財政事情の下、諸制度の大幅な変更や新たな住民ニーズへの対応を迫られるという難題が山積しております。また、本町議会

におきましては現在、かつてない活動が展開されており、このときにあたりまして私は、町民福祉の持続的な向上を第一義とし、議会の円滑な運営と権能の回復により、阿久比町のさらなる発展に誠心誠意努力していく所存であります。議員各位、町関係者の皆さん、そして町民の皆様のご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



阿久比町議会議長
三留 享

議長就任あいさつ

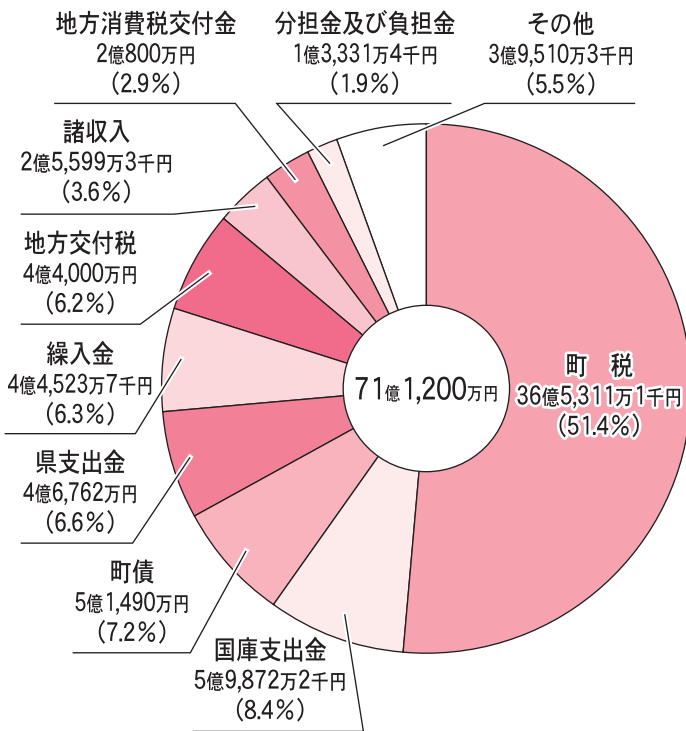
町財政の歳入歳出

平成22年度一般会計予算

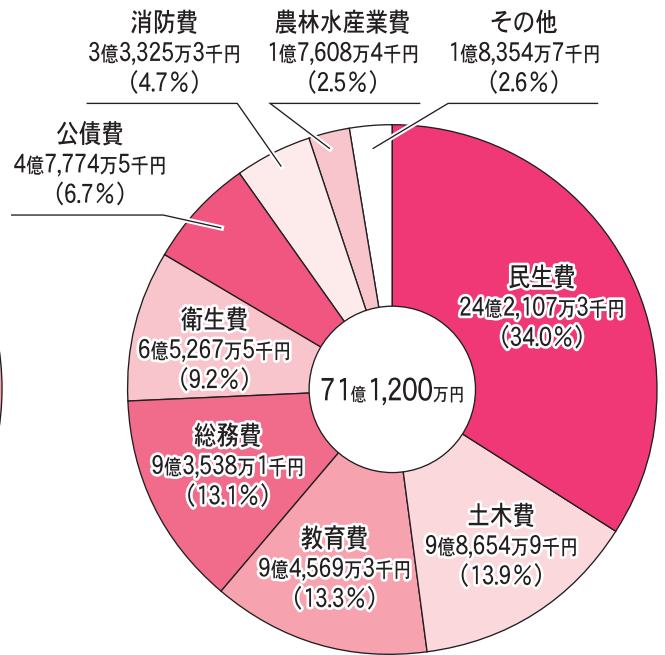
一人当り予算 約280,000円 (22年4月1日現在 25,389人)

一人当り借入金 約156,000円 (21年度末地方債 現在高見込額より算出)

歳入構成



歳出構成



会計別予算総括表

区分	予算額	増減率
一般会計	71億1,200万円	5.8%
特別会計	国民健康保険	22億589万7千円 5.6%
	老人保健	300万円 △53.5%
	土地取得	39万円 53.5%
	下水道事業	11億4,100万円 3.1%
	介護保険	14億1,084万4千円 18.3%
	後期高齢者医療	2億3,100万円 11.8%
	小計	49億9,213万1千円 8.5%
水道事業会計(支出ベース)	9億3,171万1千円 △9.2%	
合計	130億3,584万2千円 5.5%	

☆通院医療費の無料化を中学校卒業まで実施。(7月診療分より)

子ども医療費支給事業

☆中学校卒業までの子ども1人につき、月額1万3000円を6月より支給。

子ども手当支給事業

22年度主な事業

常任委員会

レポート

総務文教

循環バス対策事業

当委員会に付託されました8議案を審議した。主なものは本町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正と一般会計補正予算執行残の減額補正、小中学校環境整備事業などである。平成22年度一般会計予算では、循環バス対策事業、老人憩の家AED設置事業、幼保小中一貫教育事業などが予算化され、慎重審議の結果、全議案全員賛成で可と決しました。

(勝山 制議員)



A E D

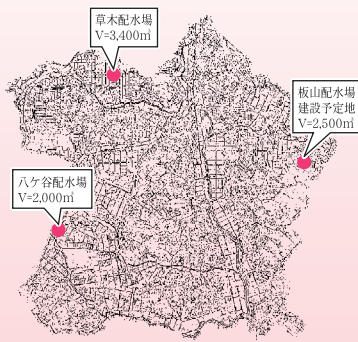


建設厚生

第3供給点建設事業

当委員会に付託されました14議案を審議した。議案の主な内容は、子ども医療費支給条例の一部改正や平成22年度予算である。水道事業会計予算では、第3供給点の境界確定や立木補償費、隣地所有者の建設反対等について意見があり、賛成3、反対4で否と決しました。他の議案については、原案のとおり可と決しました。

(大村文俊議員)



ポンプ場地図

議会だより編集特別委員会視察研修報告

研修成果を実務に

1月19日～20日にかけて鹿児島県の「始良町」と「蒲生町」に視察研修を行いました。

両町は、鹿児島県の中央部にあり始良郡に属し、本年3月23日付で同じ始良郡の「蒲生町」・「始良町」・「加治木町」の3町が合併し、現在は「始良市」となっています。

合併前の両町の「議会だより」は、過去、全国町村議会議長会で表彰される等レベルも高く全国から多くの視察が訪れています。

今回、合併を目前に控え大変忙しいなかにも関わらず、議長をはじめ「議会だより編集委員会」や事務局の皆さまに温かく受入れていただき、多くのことを学びました。私たち「議会だより編集特別委員会」は、視察での研修成果を実務に活かすために、だよりの改善に着手しています。さらに見やすく、より親しまれる編集に努力していきます。

(渡辺 功議員)



始良町



蒲生町

Q&A

一般質問

ここが聞きたい

町政を問う

上水道第3供給点

登記簿面積で契約



澤田 道孝 議員

Q

阿久比町上水道第3供給点の配水池建設事業において、今年度は用地買収と実施設計業務が実行されてきた。その中で不明朗部分について質問する。

①土地面積を明確にすることなく買収したのはなぜか。

②土地境界を不明のまま買収したのはなぜか。

③土地境界確定作業を約1年間放置したのはなぜか。

④21年度中の土地買収予定を21年8月28日決済と急いだのはなぜか。

⑤立木補償でミカン樹齡が大幅に違っていたのに、再調査しなかったのはなぜか。

A

①保安林や古窯の存在を勘案しつつ、安定した地盤に建設できることに加え、道路等条件も良く、事業費を抑制できることから、県の広域調整池の東側が適地であると判断しました。

②買収単価は、平成21年4月1日時点の評価格を約2割下回る価格です。予算単価や買収単価検討のため、異なる時点での評価を行いましたので、同一地点ですが評価格は異なります。

③土地の売買には、登記簿面積による方法と実測面積による方法があり、第3供給点建設用地は、登記簿面積で売買契約を締結しました。

④物件調査業務の委託業者が調査を行い、算定しました。

⑤物件調査の結果であり、正しいものと判断していません。町としては再鑑定の予算計上は考えていません。



建設地視察



杉野 明 議員

新年度予算

中学卒業まで医療費無料化

Q

アメリカ発の金融危機の影響で経済は急激に落ち込み、新年度予算は厳しいものと予想されるが、どのように対応されたか伺う。

①福祉、暮らし、教育など住民生活の施策の後退はないか。
②障がい児教育の保障はどう検討したか。

③子育て支援センターに正職員の増員はどう検討したか。

④子供の医療費無料化の拡充はどう検討されたか。

⑤循環バスの実現はどうなったか。

A

①住民生活の施策の後退は一切ありません。

②特別支援学級は、小中すべての学校に設置しました。

③通級指導教室は小学校に1学級の設置が認められ、中学校への設置は要望しています。

④正職員を1名増員しました。

⑤中学卒業まで無料化を拡大し、義務教育が終わるまで医療費負担が家庭にかからないようにしました。

⑥循環バス運行のための検討・調査を行っていきます。

自然環境を守る

まちづくり

県と情報交換

Q

本年10月に生物多様性条約第10回締約国会議が開催されます。本町が取りこんでいるホタル養殖事業を見直し、自然に発生する取り組みが求められる。

2月12日付中日新聞朝刊1面トップ記事で「ごんぎつねの里山復元」とあり、この機会に自然豊かな阿久比町のまちづくりを発信していくことが問われていると考えられるかどうか。

A

生物多様性の保全、生物多様性の持続可能な利用、多様な主体の協働による統合的な取り組みを県土の将来像としております。

地域における環境保全は重要な課題となっており、今後、県と情報交換するなかで進めていきたいと考えています。

後期高齢者医療制度の廃止

国の動向を見守る

Q

鳩山政権はマニフェストで後期高齢者医療制度を廃止すると言っていたが、4年後に先送りした。

①今年保険料の値上げが公表されているが確認したい。

②町長は住民の負担増を一刻も早く緩和させるために、国や関係機関に後期高齢者医療制度廃止を強く求める考えがあるか伺う。

A

①後期高齢者医療保険料均等割額は41,844円、所得割合は7・85%に引き上げられます。1人年間保険料は県全体で77,658円になる見込みです。

保険料改定は、被保険者数等を総合的に勘案して計算した結果であるので、運営上止むを得ないものと考えます。

②後期高齢者医療制度は、平成25年4月から新しい制度となる見込みです。今後、国のスケジュールを見守っていく考えです。



待合室にて

ごんぎつねの里山復元

意見を聞き考えたい



石川 英治 議員



権現山を望む

Q 2月12日の中日新聞に「ごんぎつねの里山復元」という記事が載っていた。

ごんぎつねが住んでいたとされる山は、本町にある権現山だと思う。県は「ごんぎつねとの共生」を掲げ、自然と人が共生する里山の復元を目指すとする。本町としてどのように対応するのか、また権現山を買収する考えはあるのか伺う。

A

新美南吉の「ごんぎつね」は、全国的に有名な童話であり、その舞台となった里山を保全しようとする考えは有効なものと考えます。権現山一帯の整備については、今後皆さんの意見を聞きながら考えていきます。

町道に安全対策を 看板設置を検討

Q

植大地区野崎信号交差点から東に名鉄のガードがある。

このガード下は2・3mしかなく、たびたびトラックの積載物が当たる事故が起きている。

ガードの手前に注意を喚起する工作物等を設置すべきと思うがどうか。

A

名鉄ガードの両側には高さ制限の標識が設置されており、ガード部分には鉄製の防護枠が取り付けられています。事故が発生しているとのことですので、現地確認を行い、事故防止の注意看板設置を検討します。

都市計画道路環状線

早期事業化を要望

Q

昨年12月の定例会で環状線について質問した。

その時は、町長が代わらないとだめだと言っている人がいると発言した。

その後、そのとおりだという意見を複数いただいたが、反論する意見はなかった。

その事をどう思うか伺う。

また、昨年の12月定例会以後、県にどのように要望したのか伺う。

A

環状線建設については、現在のところ特に進展していません。県から調査の検討結果について報告はありません。

現時点での野崎交差点の計画は、平面式交差となつていきます。

また、今年の1月・2月に知多建設事務所長に対し、早期事業化を図るよう強く要望しました。



渡辺 功 議員

利便性の高い循環バスを バス運行を検討

Q 近年、各自治体で循環バスが運行されている。高齢化社会での移動手段として、極めて重要な施策となっている。

- ① 知多5市4町の運行実態と利用状況さらに運行に係る経費等について。
- ② 平成14年に「循環バス運行検討委員会」を設置しているが、その時の議論内容は、
- ③ 以降8年が経過し、今回第5次総合計画において循環バス運行を推進するとした理由は。
- ④ 今後検討にあたっての運行コースおよび運行費用の考え方について。
- ⑤ 「デマンド交通」に対する見解は。

A ① 大府・東海・知多・常滑市、東浦・美浜町で

- ② 5回の検討委員会を開催し、時期尚早、タクシー助成の充実、路線バスの継続等を取りまとめました。
- ③ 路線バスの廃止、高齢化率の上昇さらに住民からの要望が多く出たためです。
- ④ 検討委員会で、デマンド交通も含めて適切な運行形態等を検討します。

近隣市町の運行実態と利用状況、運行に係る経費

運行状況	20年度利用状況(人)	20年度経費(千円)
大府市	9,800	65,700
東海市	212,000	69,400
知多市	78,000	34,700
常滑市	3,000	3,100
東浦町	232,000	48,300
美浜町	32,000	17,100
武豊町	H22年7月～試行運転予定	
南知多町	H22年10月～試行運転予定	

境界変更に関して

行政サービス向上に努力

Q 高根台の居住者から「高根台を阿久比町から東浦町に行政区を変えることはできないか」との声が多くある。したがって「境界変更」に関して、町当局の見解を伺う。

- ① 境界変更の定義等について。
- ② 県内における境界変更の事例と特徴について。
- ③ 境界変更を実施する場合の手続き等、その流れについて。
- ④ 具体的に本件の場合は、どのような条件が整うと境界変更が可能か。
- ⑤ 高根台団地のケースで、異動する人口および本町の税収に与える影響額は。
- ⑥ 本境界変更について町の見解は。

A

① 廃置分合(いわゆる合併のこと)による市町村の新設または廃止を伴わずに、単に市町村の区域のみを変更すること。本町においても、過去に面的整備事業等による土地の形状変更等に伴う、市町の境界変更はありました。② 土地改良事業など、面的整備事業等によるものがほとんどで人口異動の多い事例はありません。③ 関係する市町村からの申請に基づき、知事が県議会の議決を経て処分を行います。また、関係市町村の申請についても、それぞれ市町村議会の議決を行ふこととされています。④ 当地区が、東浦町に境界変更を要する確固たる理由が必要です。

あわせて阿久比町、東浦町双方の住民(住民投票等)及び議会の意向の統一が必要であります。

⑤ 2月1日現在で人口1,632人、影響額は約1億7,800万円です。⑥ 団地としては一体化しているものの、阿久比町が上下水道などのインフラ投資をしていること。また異動する人口が半端ではなく、かつこの住民が収めている税も水準も高く、阿久比町にとって税収に与える影響が大であり、基本的には認めにくいと言わざるを得ません。

人口異動数	町全体	高根台地区(割合)
人口	25,149人	1,632人(6.5%)
世帯	8,605世帯	567世帯(6.6%)

個人町民税

	21年度町予算	高根台地区(割合)	1億3,400万円(8.6%)
21年度町納税義務者	12,800人	高根台地区(割合)	900人(7.0%)

固定資産税

	21年度町予算	高根台地区(割合)	4,400万円(2.8%)
21年度町納税義務者	15,801人	高根台地区(割合)	500人(3.2%)

ヒブワクチン接種への公費助成を 国・県の動向をみて



二井登喜男 議員



集団予防接種（BCG）

Q

子ども達の生命と健康を守ることは、最優先の政治課題。乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチン接種が任意のため、保護者の費用負担が重く、公費助成が必要。町当局の考えは。

A

ヒブは、肺炎・敗血症・喉頭蓋炎などの感染症を引き起こす原因菌となっています。特に0歳から1歳の乳児の発症頻度が高いと言われています。ヒブワクチンの公費助成につきましては、国・県等の動向をみながら検討していきたいと思えます。

子育てサポートブックの作成を 関係情報誌を検討

Q

妊娠、そして出産、やがて子どもが18才を迎える日までに与えられる各種サービスや相談窓口など、子育て支援に関する情報をそれぞれのステージごとに区分されたガイドブックが求められている。町当局の考えは。

A

民生部・教育委員会がそれぞれ子育てに関する情報誌を作成し、子育て中の母親等を支援しています。冊子にまとめた子育て関係情報誌の作成については、今後検討します。



あぐびっぴにて



鈴木 一夫 議員

行財政改革の成果は 5年間で5億5,200万円削減

Q 昭和60年度及び平成7年度の2度にわたり行政改革大綱を策定し行財政改革を推進してきた。しかし、財政状況はますます厳しく、そうした中で本町も平成17年2月に実行した第3次実行計画の取り組みを伺う。

- ① 取り組んできた目玉は。
- ② 本町に成果が出ていると思うか。
- ③ 評価は誰がどのようにしたか。
- ④ 今後の取り組みはどうするか。

A ① 自律していくための行財政改革として、「経費の圧縮」、「行政のスリム化」、「住民の受益者負担」と定め様々な項目に取り組んでいます。

② 5年間で約5億5千200万円の削減をしています。

③ 毎年、行政改革推進委員会を開催し、進捗状況のチェックをして頂き、公表しています。

④ 現在策定中の第5次総合計画の中に成果目標を掲げています。行政評価とも連動させ、計画達成に努めます。

必要な部署には必要な人材を 適正配置で効率的な行政運営

Q 現在の部署制度では担当役割が町民のニーズに対応できているかであり、特にまちづくりに関する町民の期待は誠に大きなものがあります。ソフト面とハード面がありますが、今の体制で将来にわたり本町の基本計画の推進が可能かを伺う。

① 土地改良課と都市計画課をなくし、今後阿久比・矢高、宮津地区の土地改良事業が進められるのか。

② まちづくり課を設置し、総合的にまちづくりを考えてはどうか。

A ① 平成17年度の行政改革で産業課の農地係と農政係を統合しましたが、平成20年度に、2つの土地改良事業を進めるために事務分掌の見直しを行い、再び農地係を設置して体制を整えています。

② 行政改革大綱にある組織のスリム化を意識し、新しい課の新設は控えさせて頂き、限られた職員数で適正配置を行い、効率的な行政運営に努めながら、よりよいまちづくりを進めます。

総合計画は途中見直しも可能か

必要であれば可能

Q 第5次阿久比町総合計画「みどりと共生する快適な生活空間・あぐい」の中間報告案が示されました。本町最上位の羅針盤であり、策定に向けて将来もずっと住みたい快適なまちづくりの基本を示すものであり、以下伺う。

- ① 第4次総合計画の検証をどのようにするか。
- ② 第5次からは成果目標の設定があるが甘くないか。
- ③ 社会経済情勢の変化により10年計画ではあるが途中で見直しも可能か。

A ① 平成20年度の7月から第4次総合計画の各施策項目について、4段階で進捗状況を評価しています。

② 策定部会で数値目標を検討し、現時点で見込める精一杯の数値を掲げています。

③ 近年、政権交代等もあり、社会・経済情勢は急激に変化しています。10年計画として策定しますが、今後の情勢に対応していくために、計画の見直しが必要であれば、見直しをすることも可能と考えています。

上水道工事負担金補助は 今は考えていない



岡戸 宏之 議員



水道管布設工事

Q 水道事業給水条例に基づく給水装置の新設の申し込みに対し、公道に一定の距離を越え布設延長をする場合の費用の一部を町が負担する考えがどうか伺う。

A 水道事業給水条例に基づき、給水装置の新設に要する費用は、本人負担をお願いしています。新設費用の一部を町が負担することは、収益に影響を及ぼすため、財政的に余裕がなければ実施できません。

現在のところ新設費用の一部を負担する制度を設けることは考えておりません。

青パト稼働状況は 多くは自主防犯活動で使用



青パトでの防犯パトロール

Q 21年度各学区に「安全・安心パトロールカー」が配備されました。以下伺う。
①各学区別の貸し出し状況は。②貸し出している団体数は。③各学校の使用状況は。④今後の貸し出し見込みは。

A ①東部学区は、東知多少年補導委員パトロール隊、英比学区は福住・坂部・卯之山防犯パトロール隊、草木学区は、草木防犯パトロール隊、南部学区は、植防犯パトロール隊に貸し出しています。

②6団体です。

③東部小150回、英比小271回、草木小236回、南部小111回です。

④青色防犯パトロール講習会の開催や、学区内の活動日の調整を図り、多くの地区で活動が出来るようにしていきます。



竹内 松彦 議員

農業耕作放棄地再生にむけて

協議会を立ち上げ

Q 農業従事者の高齢化に伴い耕作放棄地が増加しつつあるように見受けられる。反面若い農業従事者は耕作地拡大に意欲を燃やしているがなかなか借りられない。行政がもっと仲介して貸借できるような手立てはないものか。また耕作放棄地再生に向けての交付制度もあるようだが阿久比町としてこのような支援をどのように考えているか。

A 耕作放棄地再生利用交付金を利用して耕作放棄地の再生利用や附帯する設備等の整備をするためには、町の地域協議会を設立し、再生利用実施計画を作成して、県協議会の承認を受ける必要があります。

このため、地域協議の規約や会員、地域協議の活動内容等を検討する準備委員会を開催し、平成22年度には、地域協議会を立ち上げ耕作放棄地の再生利用実施計画づくりを進めます。

耕作放棄地対策協議会にご相談下さい!

耕作放棄地対策協議会はなにをやってくれるの?

協議会は耕作放棄地の所有者と引き受け手の間に入り、荒廃状況調査や権利関係の調査・調整、計画づくりを行います。

耕作放棄地再生利用推進交付金

協議会が行う耕作放棄地全体調査のフォローアップや意向調査等の利用調整活動、導入作物・販路の検討、営農開始後のフォローアップ等を支援します(定額)

新年度予算は

保育料の値下げ

① 22年度予算は。

② 保育料一律600

円の値下げとなっているが町の予算増はいかほどか。

③ 他市町と比較して阿久比町の保育料のどの部分でどの程度違うのか。

A ① 平成22年度一般会計当初予算は、71億1,200万円、前年度対比3億8,700万円増です。主な要因は、子ども手当支給事業、子ども医療費支給事業、町道3196号線道路改良事業、山田中央公園整備事業などです。

② 経済状況は厳しいものがあり保育料が家計に影響していることを考慮して、22年度に保育料を月額で一律600円引き下げると、予算増については世帯の所得状況にもよるが年間約350万円と想定します。

③ 保育料で一番多く該当する階層区分の近隣市町の平均と比較すると、引き下げ前の料金は3歳児未満は安く、3歳児以上は高い状況です。

市街化区域内下水工事完了後の対応は市街化調整区域の整備を検討

Q ① 22年度草木処理区分の工事が完了するがその後の予定はどうなっているか。

② 合併処理浄化槽設置に伴う補助金の増額の考えを伺う。

A ① 市街化区域の公共下水道整備は、平成22年度にほぼ完了できる段階となり、下水道事業検討委員会を立ち上げました。

② 阿久比町の補助金額は近隣市町と比較しても、特段少ないことでもなく、また財政状況の厳しいときでもあり、現在のところ増額は考えておりません。



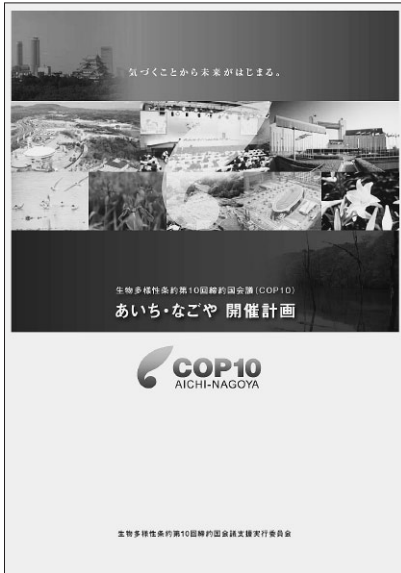
合併処理浄化槽

COP10を住民参加で

情報提供と住民との連携



大村 文俊 議員



COP10あいち・なごや開催計画
(COP10支援実行委員会作成)

Q 生物の多様性の保全、持続可能な利用、自然や環境問題を考えるよい機会であるCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）への取り組みを伺う。

- ① COP10に向けた今までの取り組みは。
- ② 10月に開催されるイベントへの取り組みは。
- ③ ほたるサミットの実施内容は。
- ④ 住民参加の推進は。

A

① ホタルの分布調査や高根湿地の保全など動植物の保護に努めています。

② ホタル体験型展示、高根湿地パネル展示など環境保全について情報の発信を行います。

③ 東部小学校児童によるオープニングイベントや参加市町の首長による意見交換、またCOP10関連事業として記念講演会を予定しています。

④ 情報提供をすとも住民の方々との連携を図りながら環境保全に努めます。

阿久比駅にエレベータ設置を

国の施策が決まったら検討

Q

高齢化社会や障がい者福祉対応を考えると、名鉄阿久比駅へのエレベータ設置への取り組みを伺う。

- ① 今まで名鉄に対する要望内容及び対応は。
- ② 河和線各駅での状況及びバリアフリー新法の乗降客数5,000人基準をどのように捉え、対応していくのか。
- ③ 現状の説明は。
- ④ 特急停車・陽なたの丘住宅販売の今が、要望のよいタイミングと考えるがいかがか。

A

① 平成18年度からエレベータ設置の要望をしていますが、今後とも、名鉄に早期事業化の要望をしていきます。

② 乗降客数5,000人以上の駅は、平成22年までにバリアフリー化を進めています。また、国の施策の中で事業化ができるよう名鉄に要望していきます。

③ 国の基準に当てはまらないため、事業化には至っていません。バリアフリー化には多額の費用が掛かりますので、国の補助制度により早期事業化を図っていきます。

④ 国の施策が決まりましたら名鉄と協議し、設置に向けて検討していきます。



阿久比駅地下通路



久保 秋男 議員

各種税、使用料の徴収率と滞納額は 滞納世帯をこまめに訪問



新たな財源を見出すことも困難なとき既定財源である各種税、使用料の確保は、町民へ質の高い行政サービスを提供するためにも徴収率の向上を計り、また税の負担公平の点からも重要な課題である。

したがって、20年度町税、国保税、上下水道使用料について実態を伺う。

- ① 徴収率は。
- ② 滞納件数は。
- ③ 滞納額は。
- ④ 20年度までの滞納総額は。
- ⑤ 徴収率向上と滞納件数の解消対策は。



⑤ 関係各課と連絡を密に情報を共有し、滞納世帯をこまめに訪問、国民の三大義務である納税義務について理解を得ることと分割払い等による納付方法の相談により滞納の解消に努めます。

20年度の状況

	町 税	国保税	上水道	下水道
① 徴収率 (%)	95.7	94.1	98.7	99.0
② 滞納件数 (件)	820	1,458	659	321
③ 滞納額 (千円)	56,728	35,936	6,118	1,409
④ 滞納総額 (千円)	174,895	164,062	14,348	2,860

観光行政について

情報発信機能を



他市町と比較しても本町には大きな目玉となる観光資源は少ない中、観光協会の設立に向け、一步を踏み出すことに大きな期待をしておりますが、町の観光行政の考え方を伺う。

- ① 基本的な考え方は。
- ② 観光協会の必要性は何か。
- ③ 観光産業、観光資源の開発整備の考えは。
- ④ 町民が求めている観光行政の施策は。



① 行政からの呼びかけにより、観光協会の設立を推進します。② 観光協会の名称を使って、特産品等を紹介することです。③ 観光協会の会員相互の連携が進むことにより、新たな観光産業や観光資源の開発も生まれるものと考えます。④ 町内外から観光客が来訪する観光資源を開発することや観光客が買い求める特産品となるような観光協会から、情報発信機能を発揮することと考えます。



商工会発行の名所・史跡パンフレット

永住外国人への地方参政権付与 法制化されれば従う



三留 亨 議員

Q

政府は「永住外国人に地方参政権を付与する法案」の成立を目指しているが、これは国のあり方を危うくし、国民生活をも侵害するものである。

世論調査でも圧倒的多数の国民が反対しており、総選挙の際に民主党はマニフェストから削除した。私は国、地方を問わず選挙に参画できるのは日本国民で、外国人についても日本国籍を取得した人に限るべきと考える。友好関係とは別次元の問題である。

本町の外国人の居住状況と地方参政権を付与した場合の影響について伺う。

A

中国65人、フィリピン33人、ブラジル・韓国がそれぞれ30人など全体で15ヶ国172人です。在留資格は、永住者・特別永住者80人、日本人の配偶者等17人、定住者14人などとなっています。

選挙事務以外には、特に大きな影響はないと考えています。個人的には帰化した方に参政権を与えるべきと思いますが、法律で規定されれば当然従います。

◆日本国憲法

第十五条第一項

公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利である。

第九十三条第二項

地方公共団体の長、その議会の議員及び法律の定める市の他の吏員は、その地方公共団体の住民が、直接これを選挙する。

◆最高裁判所判決

(平成7年2月28日)

公務員を選定罷免する権利を保障した憲法第十五条第一項の規定は、権利の性格上日本国民のみを対象とし、右規定による権利の保障は、我が国に在留する外国人には及ばないものと解するのが相当である。

学校トイレの洋式化は 直接肌が触れるのがイヤ

Q

現在、児童生徒の家庭のトイレは、ほぼ100%が洋式トイレであり、各種公共施設の大便器は洋式が主体である。

これに反し本町公共施設の洋式化は遅れており、特に学校トイレは問題ではないか。入学間もない小学生は間に合わなくなったり、神経質になったりすると聞く。保育園では年長組になると、わざわざ和式トイレの使用練習をさせるとのこと。学校トイレの洋式化の現状と今後の計画について伺う。

A

洋式化率は、小学校で男子トイレが約28%、女子トイレが13%、平均で約19%です。中学校は男子トイレが約25%、女子トイレが約15%、平均で約18%です。直接肌を触れるのがイヤという意見が多く、洋式化が躊躇されている。児童・生徒の意識調査とともに学校の意向を確認しながら、明るく綺麗で利用しやすいトイレになるよう整備していきたい。



小学校のトイレ



山本 幸司 議員

上水道事業の広域化

既設配水池の容量不足

Q 町は板山に上水道タンクを、7億5,000万円かけて建設しようとしている。

厳しい財政状況が予測される中、また水道料金が知多半島で一番高い現況で、住民のために本当に有益な施設と言えるのか。

現地には、県と半田市のタンクがあわせて3基ある。経済的・効率的にも、県並びに半田市・東浦町とも協議をし、広域的な上水道運営を図ることが、将来に向けて肝要では。

A 広域化に関して半田市に伺ったところ、阿久比町への分水は、既設配水池の容量不足による新規配水池の建設、事業認可等の変更が必要であり、不可能との回答でした。

町の西部丘陵地にある2カ所の配水場から阿久比川を横断し東部地域へ給水する本管は各一本のため、地震等で破損した場合には供給困難になることも考えられます。板山地区に建設する第3供給点は、水道水の安定供給にとって重要な施設です。



半田市タンク

愛知県タンク

配水タンク

本町の発展と住民サービスの向上

自主財源確保と雇用促進

Q 本町の発展、住民サービスの向上の源は、自主財源の確保と増収にある。

この案件こそ、町長に科せられた責務であり、実践して戴くことである。有効な土地利用によって400倍以上の税収増となる実例もある。地域住民が望む土地改良事業等に、町政としての尽力を。

厳しい不況の中、町政として商工会等との連携による雇用の促進に向けた方策はないのか。



阿久比・矢高地区土地改良事業予定地

A 町政運営をする上において、自主財源の確保は重要なことと認識しています。これまでも、工業団地を造成し、企業誘致に努めてきました。策定中の第5次総合計画においても、阿久比・矢高地区と宮津地区の土地改良事業を推進し、工業団地を確保し、安定した自主財源の確保と雇用促進に努めていきます。

宮津山田 民踊同好会



茶楽会にて



デイサービスにて

私たち民踊同好会は、昭和55年2月に山田に住む仲良しグループで発足しました。

会員の素晴らしい笑顔に出会うと、疲れも吹き飛び気持ちの良い汗を流し、一生懸命練習に励んでいます。

また、これまでとても貴重な体験をさせていただきました。

思い出深いのは、昭和61年から東浦町の東和荘におやつなどを準備して、民踊披露やお話などに15年間通ったことです。当時200人のおじいちゃんやおばあちゃんから、たくさんの笑顔と輝く瞳で私たちをむかえていただきました。喜びや笑顔を共有できた時は、少しでも人のお役に立っていると感じることができました。

翌年からは、毎年6月に近所の高齢者の皆さんを招待して、山田集会所で民踊披露会を開催しています。今年も民踊披露会にむけて会員一同張りきっています。

さらにオアシスセンターデイサービスへは月2回、宮津宅老所へは月1回。そして私たちの住む山田の75歳以上の方に月1回私たちの作った昼食を囲んで楽しい一時を過ごしていただくとスタートした茶楽会も今年で7年になりました。多くのお年寄りとおふれあうことは、たくさんの笑顔に出会えることです。皆さんも仲間に入って素晴らしい出会いをしませんか。

(代表 小野ハル)

次回定例会

6月3日(木) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX48-1711

議会事務局へ

編集後記

表紙は、阿久比中学校への桜坂の桜です。

2月には、全国の桜の開花予想がいろいろなところから発表されました。

どうして桜は人気があるのかを探ってみると、

「咲く前から開花を待ち構える雰囲気がある」「節目の季節に咲く」「すぐ散ってしまう」等々。

卒業、入学、入社など、いろいろな節目の重なる時期に咲くので印象に残りやすい。

また、各地で一斉に開花する驚きや薄いピンクの花びらを見ているとほのぼのとした気分になれるとも。

もう5月になりました。はじめは期待と不安が交差していた入学や卒業、また社会人として、今では希望を胸に毎日ガンバツていることでしょう。

議会だより編集特別委員会

委員長 渡辺 功
副委員長 勝山 制
委員 竹内 松彦
委員 久保 秋男
委員 大村 文俊